



JAPANESE RED CROSS NAGOYA DAIICHI HOSPITAL

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

日赤なごや



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



Vol.47
2015. Winter



Message

新年のご挨拶

今号の顔 管理栄養士 木下紗里さん

ふれあい通信

ピンクリボンフェスティバル2014

活動報告

患者満足度調査の結果を
お知らせします

おクスリ豆知識

血液をサラサラにするお薬に
ついての話

新年のご挨拶 皆様、新年明けましておめでとようございます。

院長 宮田 完志

本年度で創立78周年を迎えます。当院は、これからの医療の基盤となるように、最新機器の整備を進めております。具体的には、手術室の2室の増設は昨年7月に完成し、そ

の内の1室はハイブリッド手術室といたしました。これは放射線診断・治療と手術を組み合わせたもので、完成直後から主に大動脈の血管内治療が行われており治療実績は

構造の変化に即した対応が可能になります。能力の向上した心臓カテーテル装置は夜間の緊急にも迅速に対応しており、多くの患者さんの治療が高度に、安全に行われることが期待できます。

本年1月からは増設した最新型の放射線治療器が稼働します。これにより今までより精度の高い治療が可能となり、前立腺や肺、肝臓、耳鼻咽喉科領域等の腫瘍に対して有力な武器となります。正常な部分に障害を与えず、腫瘍部分のみを治療するものです。

の皆様の健康を守るという使命を全うするための当院の務めと考えています。
昨年は患者さんからの声を聞くことを特に大切にいたしました。いただいたご意見、クレームに対して対策を協議し、できるだけ改善に努めました。昨年9月25日、職員を動員し外来、入院で二斉に患者さんの満足度アンケートを実施いたしました。結果は外来に掲示しておりますが、辛口の御意見も見られた中、概ね満足度が高いというお答えをいただきました。職員一同少し安堵すると共にさらに患者さんの満足度を向上させることができるように気を引き締めたところです。
本年も昨年のスローガンに続いて、ナンバーワンの病院になる〴〵を掲げていきます。患者さんのために、ナンバーワンになれるよう全職員で努力いたします。本年もどうぞよろしく願います。

予想以上のものです。心臓の大動脈弁に対する治療の開始許可も申請済みで、このためハートチームという循環器内科医と心臓外科医さらに麻酔科も交えた専門家集団ができており、近々大動脈弁に対する治療も開始の予定です。これは通常の手術が困難なリスクの高い患者さんに対して、短期間に小さい侵襲で治療を行うことが可能となります。名古屋地区ではこの治療ができる最初の病院となります。
心臓カテーテル検査装置は最新型の物に更新いたしました。CTの能力向上等で診断のためのカテーテル検査は減っておりますが、その分治療のための心臓カテーテル手技が増えており、今後の疾病

さらに本年春から稼働する3テスラのMRIの導入は、脳神経系、脊髄系のみならず骨盤部の診断能力にも大きな飛躍が期待できます。今まで問題の一つであった騒音対策もできており、患者さんは静かな状態で検査を受けて頂くことができるようになります。これらは全て患者さんの治療のレベルを向上させるものであります。常に病院を最新の状態にして、住民



インタビュー 今号の顔 Vol.47

表紙のひと
医療技術部栄養課/管理栄養士
きのした さり
木下 紗里さん



生涯を通してその方の健康を支える 「食の知識」を届けたい。

食品・栄養の専門家として チーム医療の一端を担っています。

栄養課では、病院食の提供と、外来・入院患者さんの栄養指導、入院患者さんの栄養管理を行っています。

栄養管理とは、患者さんの病態や投薬、静脈栄養(点滴)などをふまえて適切な栄養素が摂取されるように管理することです。

これは、医師の指示のもとに、食の側面から病気の治癒促進や進行・再発を予防することが目的です。しかし、適切な栄養管理・指導を行うためには、患者さんの食の嗜好や偏向、習慣、栄養摂取の状況とその問題点などを細かく把握しておかなければなりません。そういう意味で、管理栄養士は

様々なコミュニケーション能力が求められる職業でもあります。

できることから、少しずつ。 それが、食生活改善のポイントです。

食事療法の難しさは、手術や薬の治療と異なり、“すぐに効果が出にくい”ことにあります。また、“この日まで頑張れば終了!”という明確なゴールがないため、歯がゆく感じる患者さんが多いのも事実です。

私たち管理栄養士は、正しい食の知識を一方的にお伝えするのではなく、できる限り患者さんの話に耳を傾け、実現可能な目標を一緒にたてていくことで、少しでも食生活を改善していけるよう、心がけています。

入社して4年。2014年は目標のひとつであった「日本糖尿病療養指導士」の資格を取得しました。これは、糖尿病やその療養指導の専門知識を持つ医療スタッフであることを認定する資格です。糖尿病の治療には自己管理が大きく影響するため、いかに無理なく、的確に、その方に合った食生活を実践していただくかが大切です。そのために、私自身も学ぶべきことがまだまだたくさんあると考えています。

次の目標は、NST(栄養サポートチーム)専門療法士※の資格をとること。「食」を通してひとりでも多くの患者さんのお役に立てるよう、私自身もできることから着実に実行していきます。

※ NSTは患者さんの状況・症例に併せて栄養管理を行うチームのこと。

おクスリ 豆知識

血液をサラサラにするお薬についての話

第34回

“血液をサラサラにする薬を飲んでいますが”と耳にすることがあります。心臓病や脳血管障害、慢性の動脈閉塞症などの治療中の方で、血栓予防のために、血を固まりにくくするお薬を飲んでいる方の様です。

血液は血管内では固まらず、ケガなどで出血した場合、出血を止めるために直ちに固まる性質があります。これには、「血小板」、「血液凝固因子」などが働いています。しかし、いろいろな原因で、血液が血管内で

固まると、血液の流れが悪くなってしまい、ひどい場合には、血管が詰まってしまいます。このような病気を予防するために、血液を固まりにくくする薬(抗凝固薬や抗血小板薬など)が処方されることがあります。アスピリン、ワルファリンカリウムなど、十数種類の薬剤が使用されています。いわゆる“血液をサラサラにするお薬”です。

これらのお薬は、心臓や脳、足などにできる血栓予防に重要なお薬

ですが、服用中に抜歯や手術、出血を伴うような検査が必要になった時は、あらかじめ服薬を中止することがあります。ただし、勝手に中止するのではなく必ず主治医の指示を受けてください。また、手術や検査などを受ける病院以外の医院などからこのような薬を処方されている場合は、主治医に必ず申し出てください。どの薬かわからない場合は、薬剤師に尋ねていただくと確認することができます。

ピンクリボンフェスティバル2014

乳がんで悲しむひとを、減らしたい!

去る10月11日(土)ピンクリボンフェスティバル2014を開催しました。

乳がんは30代~60代まで幅広い年齢層で罹患しますが、早期発見・早期治療で比較的治りやすい病気です。幅広い年代層の方に乳がんについての知識や関心を持っていただくよう、イベント内容を企画しました。1部はロックソラン・フラダンス・金管アンサンブル等で賑やかに盛り上がりました。2部はピアサポーターと医師による講演会と矢野きよ実さんと医師によるトークショーを行い、280名の来場

者がありました。

小学生の参加者からは「お母さん大丈夫かな。検診受けてほしいな。」、また親の立場から「娘に検診受けてほしい。」、その他「乳がんについて楽しく学べた」「改めて他人事ではないと思った」「これをきっかけに乳がん検診を受けたい」といった感想が寄せられました。



イベント 掲示板

中日ドラゴンズ選手の慰問があります

例年好評を得ております中日ドラゴンズ選手による慰問を開催いたします。今年で30回目を迎えるこの慰問では、ユニークなトークショーや病棟訪問で療養中の患者さんを励ましてくれます。トークショーでは、選手の皆さんが来場者の質問に応じてくれますので、ぜひ会場へお越しください。

慰問日 平成27年1月21日(水)

時間 15:00~

会場 西棟1階ホスピタルモール



がんサロン「コスモス」に参加しませんか

がんによる悩みや不安を自由に語り合う場、がんサロン「コスモス」を開催いたします。予定は次のとおりです。ぜひご参加ください。

開催日 平成27年
1月27日(火)
2月24日(火)
3月24日(火)



時間 15:00~16:30

会場 東棟2階 会議室1

健康教室、まもなく開講です!

参加
無料

テーマ 「予防接種」

座長 名古屋第一赤十字病院
第一小児科部長 羽田野 為夫

講演1 「自分・我が子・社会を守る予防接種」

講演2 「元気に暮らして旅行を楽しむための予防接種」

講師 名鉄病院 予防接種センター顧問 宮津 光伸 先生 他

講演3 「予防接種についての注意事項」

開催日 平成27年2月25日(水)

時間 14:00~16:00 **会場** 東棟2階 内ヶ島講堂



患者満足度調査の結果をお知らせします

平成26年9月25日(木)に実施しました「患者満足度調査」の結果について、入院患者さん、外来患者さん、それぞれのご回答は次のとおりです。ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

※乳幼児等の患者さんについては、保護者の方にアンケートの回答を依頼しております。

外 来

様々な世代、性別、症状の方にご協力いただきました。

性別

男性 42.1%
女性 48.8%
(未回答9.2%)

年齢



診療科目

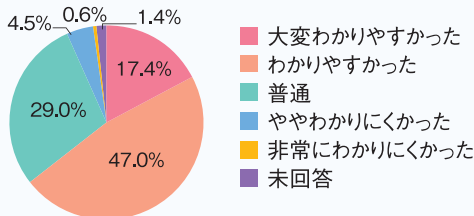


「かかりつけ医」等のご紹介によるご来院が約6割です。

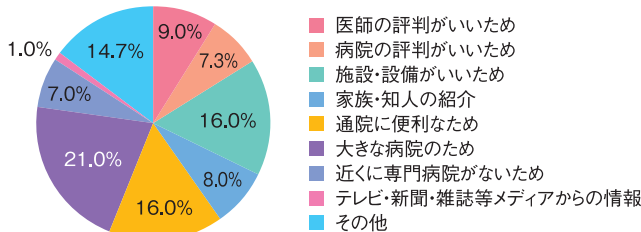
当院への受診は他の医療機関からの紹介でしたか

はい 60.1% | いいえ 39.0% | 未回答 1.1%

病院内の案内掲示はわかりやすかったですか

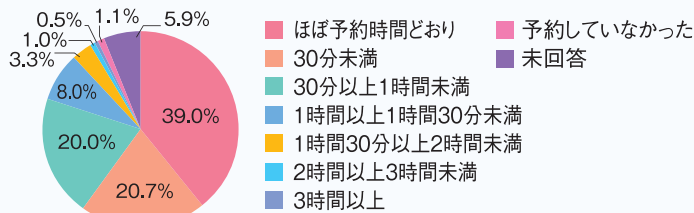


「いいえ」の理由(複数回答可)

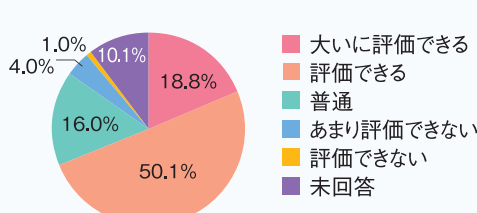


今後も、待機時間の改善に努めます。

診察予約時間どおりに診察を受けられましたか

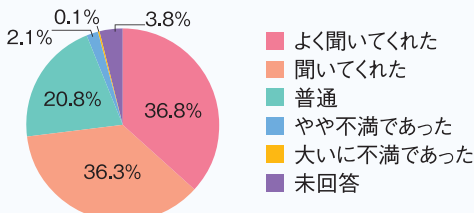


診察の完全予約制は評価できますか

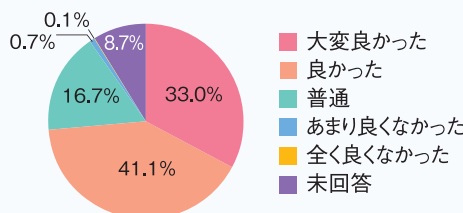


これからも、患者さんとのコミュニケーションを大切にしていきます。

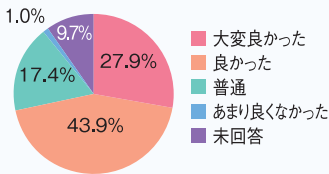
医師はあなたの身体の状態や気持ちをよく聞いてくれましたか



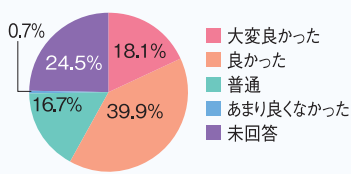
医師の言葉遣いや態度は適切でしたか



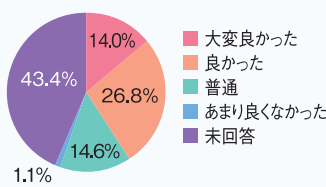
看護師の言葉遣いや態度は適切でしたか



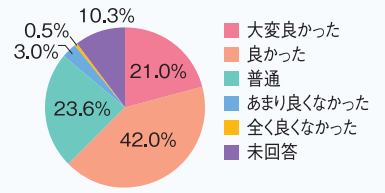
検査技師の言葉遣いや態度は適切でしたか



放射線技師の言葉遣いや態度は適切でしたか

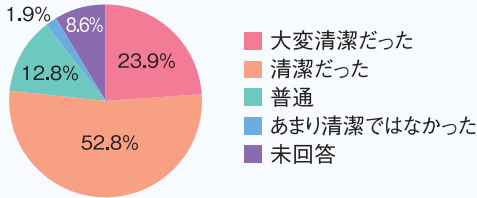


受付職員の言葉遣いや態度は適切でしたか

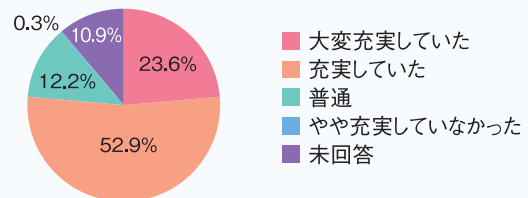


病院の機能性の向上に、今後も配慮していきます。

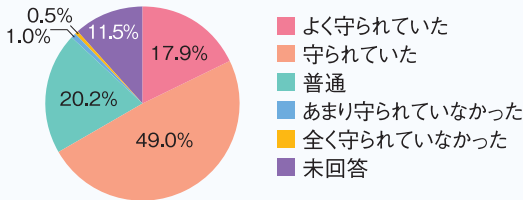
病院内は清掃が行き届いていましたか



設備は充実していると思えましたか



プライバシーは守られていると思えましたか



＜調査概要＞

- 調査日 平成26年9月25日(木)
- 調査対象 調査日の8時50分～15時に来院された患者さん
- 調査方法 新患受付及び再来受付機付近でアンケート用紙を配布し、各階に回収エリアを設置。無記名回答方式で実施。
- 回答状況 回答数884枚(回収率 82.6%)
- (参考)回収率

計算式 = $\frac{\text{アンケート回収枚数 } 884 \text{ 枚}}{\text{調査日の15時までに受け付けをされた患者数 } 1070 \text{ 人}}$

入院患者さん

様々な世代、性別、症状の方にご協力いただきました。

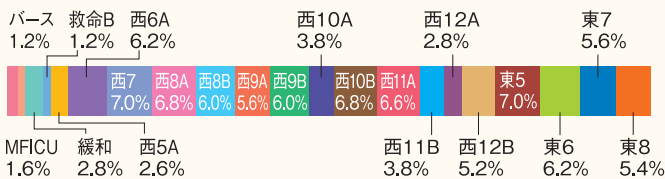
性別

男性 47.7%
女性 44.1%
(未回答8.2%)

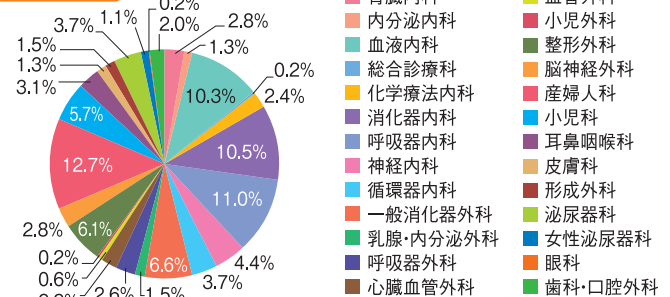
年齢



病棟



診療科目

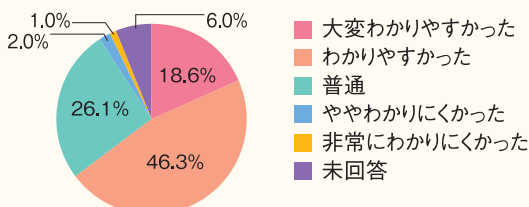


「かかりつけ医」等の紹介によるご来院が約6割です。

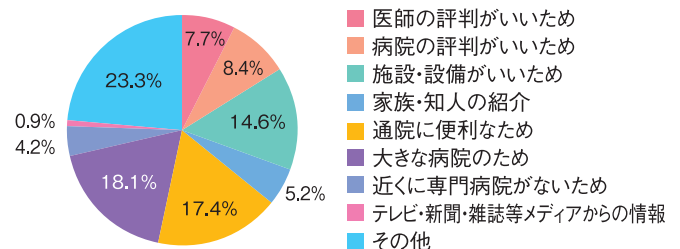
当院への入院は他の医療機関からの紹介でしたか

はい 61.9% | いいえ 36.7% | 未回答 1.4%

病院内の案内掲示はわかりやすかったですか

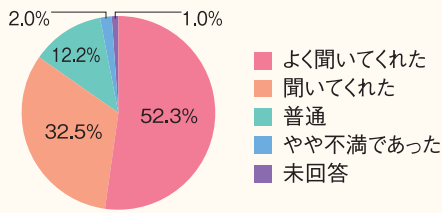


「いいえ」の理由(複数回答可)

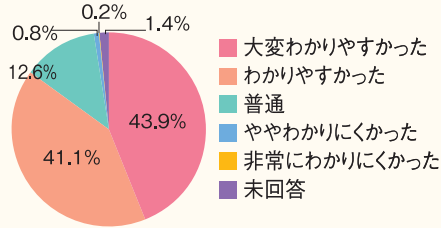


診察・治療では、患者さんとの会話を大切にしています。

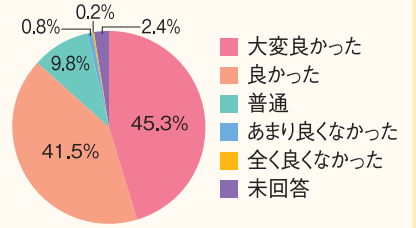
医師はあなたの身体の状態や気持ちをよく聞いてくれましたか



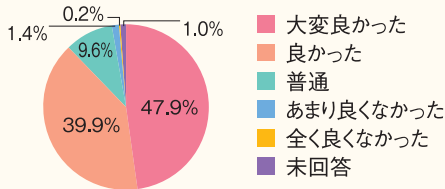
看護師はわかりやすく説明してくれましたか



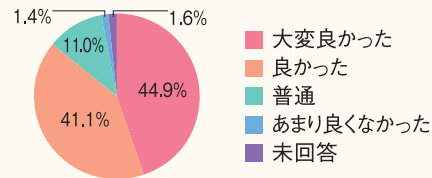
看護師の処置やケアは良かったですか



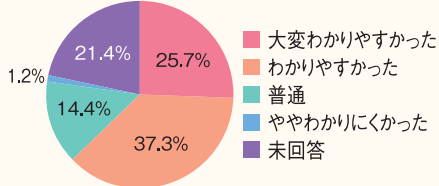
医師の言葉遣いや態度は適切でしたか



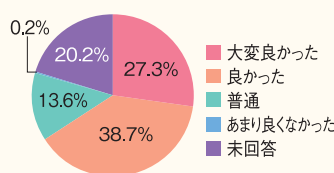
看護師の言葉遣いや態度は適切でしたか



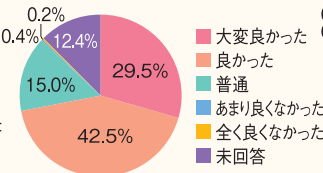
病棟薬剤師はわかりやすく説明してくれましたか



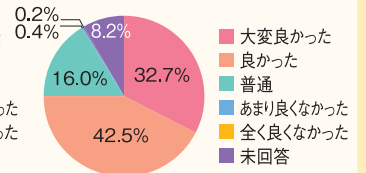
病棟薬剤師の言葉遣いや態度は適切でしたか



病棟事務の言葉遣いや態度は適切でしたか

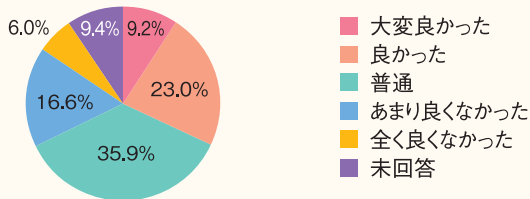


看護助手の言葉遣いや態度は適切でしたか

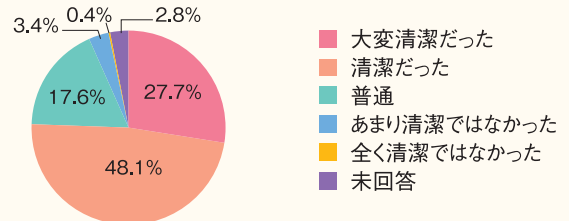


病院の居住性の向上に、今後も配慮していきます。

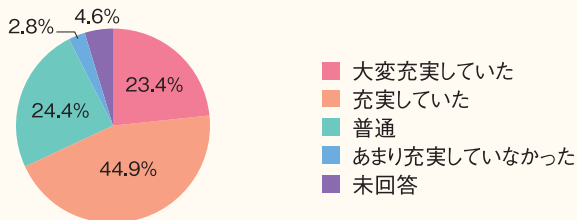
病院の食事の味や盛り付け等は良かったですか



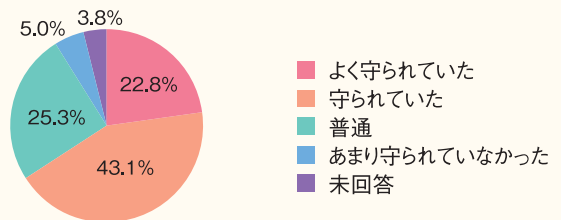
病室・洗面・トイレの清掃は行き届いていましたか



病室の設備は使いやすかったですか

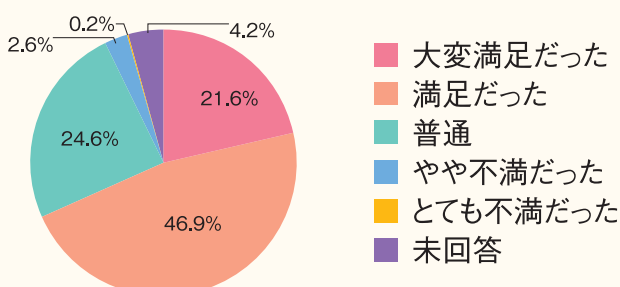


入院生活でのプライバシーは守られていると思いましたか



2.8%の声を真摯に受け止め、よりよい医療をめざします。

入院療養生活全般についてお答えください



〈調査概要〉

- 調査日 平成26年9月25日(木)
- 調査対象 調査日の10時時点で入院されている患者さん
- 調査方法 各病棟でアンケート用紙を配布、回答。無記名回答方式で実施。ただし、救命A、ICU、NICU、GCUを除く。
- 回答状況 回答数501枚(回収率 72.1%)
- (参考)回収率

計算式 = $\frac{\text{アンケート回収枚数 } 501 \text{ 枚}}{\text{調査日の10時時点で入院されていた患者数 } 695 \text{ 名}}$

外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2015年1月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金
内科	血液	小澤	倉橋	宮村	小澤	倉橋
		瀬戸	渡壁	川島	瀬戸	福島
		—	PM 宮村	加賀谷	PM 福島	PM 宮村
		PM 川島	PM 加賀谷	PM 瀬戸・中島	—	PM 渡壁
	内分泌	清田	佐藤	尾崎	尾崎	清田
		牛田	安田	—	渡邊	牛田
	腎臓	遠藤	市田	北井	福井	市田
	神経	真野	満間	後藤	真野	後藤
		満間	蛭雑	馬淵	安藤	蛭雑
		馬淵	水野	安藤	(交代)	水野
循環器	神谷	(交代)/(花木)	神谷	柴田	柴田	
	丹羽	嶋野	小栗	大野	河西	
	河西	寺嶋	本池	安田	片桐	
呼吸器	新患	青山	横山	小玉/水越	野村	山田/高納
	再診	野村	水越/PM小玉	青山	横山	野村
消化器	土居崎	春田	鷺見	山口	春田	
	鷺見	山口	村手	西尾	土居崎	
	山田	西尾/PM青井	長谷川	村手/PM青井	早川	
	植田/PM早川	PM 八鹿	八鹿	PM 長谷川	PM 植田・山田	
総合診療	大庭	PM 牛田	隔週第1-3-5 PM 大庭	PM 樺葉	—	
小児科	午前	羽田野	加藤(明)	安田	羽田野	生駒
		中山	大城	八田	鬼頭	中田(智)
		神澤	中田(智)	坂口	大森	(交代)
		(交代)	(交代)	神野	成田	加藤(俊)
	循環器	羽田野	—	—	—	—
	血液	—	加藤(明)	—	吉田	加藤(明)
	神経	—	—	中田(智)	中田(智)	夏目
	腎臓	—	月舘	—	—	—
	新生児発達	鬼頭	中山	立花	安田	大城
	フォローアップ	(交代)/神野	—	—	—	横塚
予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—	
乳児健診	—	—	(交代)	—	—	
小児内分泌	—	—	—	隔週第2-4 八田	—	
アレルギー	—	—	—	中田(知)	—	
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。						
外科	一般消化器外科	宮田	竹内	小林(隆)	永井	宮田/永井
		三宅	吉岡	湯浅	浅井	三宅
		清水	加藤	山下	PM 竹内	細井
		—	—	(交代)	—	PM 清水
	乳腺内分泌外科	—	山崎/PM 後藤	後藤	後藤・張	PM (交代)
	心臓外科	澤木	伊藤	前川	柳澤	林
	血管外科	—	錦見	—	上遠野	—
呼吸器外科	PM 岡阪	森/PM 森	—	—	森	
小児外科	金子	近藤	—	金子	PM 金子	
禁煙外来	毎週火曜日(13時~15時) 門松					
形成外科	林/滝川	—	林	—	滝川	
整形外科	新患	岸本	大島	杉浦/山賀	竹内	小野田
		大澤	堀井	井上	堀井	大澤
	再診	井上	山本	平野	洪	石川
		洪	石川	小野田	山本	平野
—	竹内	大島	岸本	杉浦/山賀	—	

診療科目		月	火	水	木	金
脳神経外科	稲尾	—	—	稲尾	—	岡本
	服部	(交代)	(交代)	—	(交代)	—
	赤堀	—	—	波多野	—	藤谷
皮膚科	新患	澤田	西田	尾市	尾市	西田
	再診	尾市	澤田	澤田	澤田	澤田
泌尿器科	服部	山本	鈴木(弘)	鈴木(弘)	鈴木(弘)	服部
	鈴木(省)	—	山本	鈴木(晶)	(交代)	
	加藤	加藤	鈴木(省)	鈴木(省)	加藤(新患)	—
		鈴木(省)	PM 加藤	—	—	—
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤	紀平	古橋	水野	宮崎
	再診	鈴木	水野/PM 坂堂	新保	廣村	三宅
	生殖内分泌・内視鏡	(交代)	安藤	—	安藤	安藤
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	宮崎	古橋	大西/PM 柵木	紀平	岡崎
		柵木	PM 猪飼	—	PM 猪飼	夫馬
バースセンター	—	岡崎	—	大西	—	
	助産師	助産師	助産師	助産師	助産師	
眼科	佐藤	(交代)	佐藤	(交代)	伊島	
	(交代)	—	(交代)	—	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田	鈴木(淳)	柘植	鈴木(啓)	代田
	再診	柘植	寺田	寺田	柘植	鈴木(啓)
		代田	鈴木(啓)	鈴木(淳)	代田	鈴木(淳)
		伊藤	—	伊藤	—	伊藤
リハビリテーション	石川	洪	大澤	井上	山本	
放射線科	山田	山田	山田	山田	山田	
	平澤	平澤	平澤	平澤	平澤	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科口腔外科	新患	大岩	佐藤	(交代)	高木	(交代)
	再診	佐藤	大岩	—	大岩	—
		高木	高木	—	佐藤	—
		佐久間	佐久間	—	佐久間	—
		野田	野田	—	野田	—
緩和ケア科	緩和ケア外来	第2・4水曜日 PM 湯浅				
緩和ケアチーム外来	第1・3水曜日 PM 湯浅					

外来診療のご案内

- ◆初診 …… 総合案内で『診療申込票』に必要事項をご記入の上、保険証・(初めて受診される方) 紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分～午前11時
(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)
- ◆休診日 …… 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン 専門外来 …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)



当院は、病院敷地内全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いいたします。

人間ドックのご案内

年に一度の健康管理をしてみませんか?

- ◆健康管理センター …… 電話にてお問い合わせください(予約制です)
- ◆受付時間 …… 月～金曜日(休診日を除く)午前8時50分～午後5時20分
電話052-471-3855(直通)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/> TOP » 外来のご案内 » 休診情報



名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733
<http://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

理念

皆さまとの出会いを一期のここと心で、その痛みを分かちあい、
苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基本方針

- 1 皆さまが安心できる癒しの森といたします。
- 2 高度・良質で安全な医療をいたします。
- 3 災害救護活動を積極的に行います。
- 4 周産期・小児及び救急医療を充実します。
- 5 医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
- 6 職員の教育・研修を推進します。
- 7 健全経営を維持するように努めます。